

令和7年度 第1回学校関係者評価委員会議事録

日 時：令和7年9月26日（金）15:00～16:30

場 所：国際医療福祉専門学校七尾校 2階会議室

委員名：	谷一 勝信	（七尾市役所 健康福祉部 部長）
	津田 博美	（社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 会長）
	岩本 潤一	（介護老人福祉施設 千寿苑 社会福祉士）
	沖崎 琴	（特別養護老人ホーム あかかみ 理学卒業生）
	岩島 誠	（公立能登総合病院 理学卒業生）
	沖崎 孝裕	（市立輪島病院 作学卒業生）
	皆川 直樹	（津幡町消防署 救命卒業生）
	村田 敏子	（自立ホームけいじゅ 介護卒業生）
	花田 邦和	（国際医療福祉専門学校七尾校 学校長）
	由久保 弘明	（国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科）
	石毛 巖	（国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科）
	玉村 豊和	（国際医療福祉専門学校七尾校 救急救命学科）

議事次第

1. 開会の挨拶
2. 令和7年度学年歴 資料①
3. 在学生状況と卒業生進路状況 資料②-1, 2
4. 各学科の取り組み活動・成果報告 資料③
 - 1) 理学療法学科
 - 2) 救急救命学科
5. 学校としての取り組み活動・成果報告 資料④
 - 1) 学生募集
 - 2) 地域貢献
6. 自己点検・評価書の総評
7. 質疑応答
8. 閉会の挨拶

以上

Ⅲ. 2025年度 学年歴

	日	月	火	水	木	金	土	1年次	2年次	3年次							
4月	30	31	1	2	3	4	5	入学式・後援会総会4/2	前期始業式・新学期オリエンテーション3/31AM 春休み明け実力試験3/31PM								
								新入生・保護者オリエンテーション4/2									
	6	7	8	9	10	11	12	1年生オリエンテーション4/3-9	防災訓練4/8PM	国試・臨床実習対策セミナー(理3)							
	13	14	15	16	17	18	19	防災訓練									
										総合臨床実習(理3)Ⅰ期4/7-5/31							
								1年生交流会4月下旬									
20	21	22	23	24	25	26											
5月	27	28	29	30	1	2	3	昭和の日4/29 憲法記念日5/3									
								みどりの日5/4 こどもの日5/5 みどりの日振休5/6									
	4	5	6	7	8	9	10	1年生保護者懇談会5/10AM									
								健康診断5/7-7/9									
	11	12	13	14	15	16	17			臨床体験実習(救3)5/8-5/28 総合臨床実習Ⅱ期(理3)5/7-6/28							
								18			19	20	21	22	23	24	障がい者スポーツ大会下旬
6月	1	2	3	4	5	6	7					総合臨床実習Ⅲ期(理3)6/6-8/8					
	8	9	10	11	12	13	14										
	15	16	17	18	19	20	21										
	22	23	24	25	26	27	28	専各連球技大会6/26 EMT3年									
7月	29	30	1	2	3	4	5			健康診断7月中(理3:5月実習組)							
										6	7	8	9	10	11	12	13
	海の日7/21																
	20	21	22	23	24	25	26		解剖実習【東京都】(延期)								
8月	27	28	29	30	31	1	2	1～2年次前期再試験期間7/28-8/2 前期末大掃除・前期終業式8/1AM		総合臨床実習Ⅳ期(理3)8/4-9/26							
								3	4		5	6	7	8	9	夏季休業7/25-8/31	
	10	11	12	13	14	15	16	山の日8/11									
											17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30	学びフェスタ(救1,2)8/23									
後期始業式9/1																	
9月	31	1	2	3	4	5	6	1～2年次夏休み明け実力試験9/1PM		総合臨床実習Ⅴ期(理3)8/25-10/18							
								7	8		9	10	11	12	13	県リハ施設見学(理1)9月	
	14	15	16	17	18	19	20										
								21	22	23	24	25	26	27	秋分の日9/23		
	28	29	30													救急車同乗実習9/29-10/10(救2)	
				土曜・日曜・休日・代休・休業期間を示す。													

	日	月	火	水	木	金	土	1年次	2年次	3年次	
10月	28	29	30	1	2	3	4				
	5	6	7	8	9	10	11				
	12	13	14	15	16	17	18	スポーツの日10/13			
								学校祭準備10/17PM 学校祭【小丸山祭】10/19			
	19	20	21	22	23	24	25	小丸山祭代休10/20			
11月	26	27	28	29	30	31	1		(理2)実習前保護者オリエンテーション 11/1		
	2	3	4	5	6	7	8	文化の日11/3			
	9	10	11	12	13	14	15	臨床実習指導者会議(理1.2.3)11/14			
	16	17	18	19	20	21	22	勤労感謝の日振替日11/24			
								インフルエンザ予防接種11～12月中			
12月	23	24	25	26	27	28	29				
								西日本救急救命学生選手権11月下旬		国試願書作成(理3)11/28	
	30	1	2	3	4	5	6	救急車同乗見学実習(救1,2)12月中旬			
12月	7	8	9	10	11	12	13		PT2年次後期定期試験期間12/1・5	国試願書作成(救3)12月末	
								PT2年次後期再試験期間12/8・12	救急技術発表会(救3)12月中		
								年末大掃除・冬季休業前オリエンテーション12/12AM			
	14	15	16	17	18	19	20	冬季休業12/15・1/4			
	21	22	23	24	25	26	27				
1月	28	29	30	31	1	2	3	冬季休業明けオリエンテーション・授業開始1/5			
								2年次学年末実力試験(理2)1/6PM			
	4	5	6	7	8	9	10				
	1年次後期定期試験期間1/6・16							臨床評価実習対策セミナー(理2)1/5・16			
	11	12	13	14	15	16	17			校外模試(理3・救3)1・2月中	
								成人の日1/12			
	18	19	20	21	22	23	24	1年次学年末実力試験1/21AM	(理)2年次学年末実力試験1/21AM		
							1年次後期再試験期間1/19・23	(理)2年次後期再試験期間1/19・23			
25	26	27	28	29	30	31	臨床見学実習対策セミナー(理1) 1/26・2/20	臨床評価実習(理2)1/19・2/13			
2月	1	2	3	4	5	6	7				
	8	9	10	11	12	13	14	建国記念の日2/11			
										国家試験(理3)2月下旬	
	15	16	17	18	19	20	21	天皇誕生日2/23			
	22	23	24	25	26	27	28	臨床見学実習(理1)2/24・3/2			
							特論Ⅰ(理2)2/25・3/25				
3月	1	2	3	4	5	6	7	後期終業式3/6予定			
								後期成績表発送3月上旬 春季休業3/9・27 後期成績表発送3月上旬			
	8	9	10	11	12	13	14			国家試験(救3)3月上旬	
								第17回卒業式3/11予定			
	15	16	17	18	19	20	21				
								春分の日3/20			
	22	23	24	25	26	27	28			国家試験合格発表(理3・救3) 3月下旬	
3月	29	30	31	/	/	/	/	次年度始業式・新学期オリエンテーション3/31AM			
								春休み明け実力試験 新2年生3/31PM			
色付 日付	土曜・日曜・休日・代休・休業期間を示す。										

2. 在学生状況

資料②-1

2025/8/8 時点

実員数と充足率（転科生・留年生・訓練生を含む * 休学生は除く）

	定員	1年		2年		3年		小計		総定員	充足率	
		4月	8月	4月	8月	4月	8月	4月	8月		4月	8月
EMT学科	35	8	8	6	6	9	9	23	23	105	21.9%	21.9%
PT学科	35	12	12	12	12	19	19	43	43	105	41.0%	41.0%
小計	70	20	20	18	18	28	28	66	66			

総数

4月	8月	4月	8月
66	0	66	210

リタイヤ率 0.0%

寮定員数と稼働率

寮名	定員数		現利用者数		
			4月	8月	
小丸山寮	30	名	14	-1	13名
後畠寮	12	名	3	-2	1名
		名			名
全定員数	42	名	17	-3	14名

15室(1階7室、2階8室) 全室:2人部屋

12室(個室:男性12名)

全54室

4月

8月

40.5%

33.3%

稼働率

増減

4月

8月

全生徒数に占める寮生の割合

25.8%

21.2%

令和 6 年度 卒業生就職状況

理学療法学科 * 七尾市内への就職者数 2 名

	出身地	就職先	就職先地域
1	石川県七尾市	社会医療法人同仁会 耳原総合病院	大阪府
2	石川県金沢市	石川県済生会金沢病院	石川県
3	石川県金沢市	リハテラス	東京都
4	石川県野々市市	宗広病院	石川県
5	石川県羽咋郡	IMS グループ 江田記念病院	神奈川県
6	長野県安曇野市	IMS グループ 春日部中央総合病院	埼玉県
7	石川県小松市	医療法人浅野川 千木病院	石川県
8	富山県氷見市	医療法人社団光仁会 木島病院	石川県
9	石川県羽咋郡	医療法人社団アスカ 白石整形外科医院	富山県
10	石川県鹿島郡	医療法人社団中央会 金沢有松病院	石川県
11	富山県中新川郡	医療法人社団紺整会 船橋整形外科病院	千葉県
12	石川県七尾市	介護老人保健施設 寿老園	七尾市
13	石川県七尾市	IMS グループ	埼玉県
14	石川県鹿島郡	社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院	七尾市
15	石川県小松市	森田病院	石川県
16	富山県高岡市	南草津病院	滋賀県

令和 6 年度 卒業生就職状況

救急救命学科 * 七尾市内への就職者数 0 名

	出身地	就職先	就職先地域
1	富山県高岡市	射水市消防本部	富山県
2	富山県南砺市	白山野々市広域消防本部	石川県
3	岐阜県飛騨市	飛騨市消防本部	岐阜県
4	富山県南砺市	白山野々市広域消防本部	石川県
5	富山県南砺市	砺波地域消防組合	富山県
6	富山県富山市	新川地域消防組合	富山県
7	石川県金沢市	奥能登広域圏事務組合消防本部	石川県
8	富山県氷見市	氷見市消防本部	富山県
9	富山県高岡市	湘南鎌倉病院	神奈川県
10	富山県南砺市	砺波地域消防組合	富山県
11	富山県富山市	白山野々市広域消防本部	石川県
12	福井県坂井市	川西市立総合医療センター	兵庫県
13	石川県金沢市	奥能登広域圏事務組合消防本部	石川県

1. 開会の挨拶
2. 令和7年度学年歴について資料①をもとに説明を行った。
3. 在学生状況と卒業生進路状況について資料②をもとに説明を行った。

【意見・質問】

- ・救急救命学科の就職先の変化についての質問があり、全体の3割が病院救命士を目指す傾向にあると説明した。
- ・就職先が企画する奨学金制度があるかについての質問があり、病院救命士に関する制度はあると返答した。理学療法士の方はほとんどないことも併せて説明をした。
- ・看護分野においても学生数を確保できていないとの情報を頂いた。

4. 各学科の取り組み活動・成果報告

資料③

【理学療法学科】

(1) 学生状況

	令和5年度入学生 現3年生(17期生)	令和6年度入学生 現2年生(18期生)	令和7年度入学生 現1年生(19期生)
入学者数(充足率)	23名(65.7%)	16名(45.7%)	12名(34.2%)
在籍者数	19名 ^{*1}	12名	12名
留年者数	0名	0名	0名
休学者数	0名	0名	0名
退学者数	6名	4名	0名

^{*1}: 15期生の留年生1名、16期生の復学生1名を含む

- ・入学前課題として、一般漢字や医学漢字、数基礎、解剖学入門(自己学習用)などを取り入れて実施している。それらの内容の確認を1年次の早期に試験形式で実施し、到達レベルに満たない学生に対しては個別指導等を行い、基礎学力レベルの底上げを行っている。その他、計画的に物事を進める能力が乏しい学生が多く、先を見据えて行動できるようスケジュール管理の指導も積極的に取入れて行っている。

(2) 取り組み状況・成果

1) 昨年度の取り組み

- ・石川県リハビリテーションセンター1日体験・講義(1年生)
- ・オープンキャンパスの学生スタッフとして参加(2年生)
- ・パーキンソン病友の会の方を招いての模擬臨床実習体験(2年生)
- ・校内デイサービス利用者の方を招いての模擬臨床実習体験(2年生)

- ・校内ディサービスにおける学生スタッフとして参加（1年、2年生）
- ・福祉住環境コーディネーター2級の取得を目指す（2年生全員）
- ・感染予防対策として3年次の国家試験日の2週間前からクラス単位での対面講義は行わず、オンライン形式で集中講義を行った。

2) 令和6年度卒業生の国家試験結果

	令和4年度卒業生 14期生	令和5年度卒業生 15期生	令和6年度卒業生 16期生
本校（現役）	12／13名 (92.3%)	10／12名 (83.3%)	16／18名 (88.9%)
全国（現役）	94.9%	95.2%	95.2%

(3) 課題と今後の取り組み

1) 問題（自己）解決能力の高い人材の育成

- ・問題解決能力の養うため、学生主体のプレゼンテーションを中心とした講義を積極的に取り入れていく。
- ・ホワイトボードに書き込むことを主体としたOUTPUTの形式を取り入れ、学生が習得した内容をイメージ化する。

2) 人間性豊かな人材の育成

- ・地域施設の行事等に学生ボランティアとして積極的に参加し、主体性・社会性などの心を育む。
- ・学内外における挨拶はもちろんのこと、思いやり・気配りができる行動が自然にできるよう日々の学校生活の中で意識を高める指導を行う。

【意見・質問】

- ・不合格者に対してのフォローについての質問を頂き、科目等履修生として対応していると説明を行った。
- ・引き続き、人間性豊かな人材の育成に努めてほしいとの意見を頂いた。

【救急救命学科】

(1) 学生状況

	令和5年度入学生 現3年生（17期生）	令和6年度入学生 現2年生（18期生）	令和7年度入学生 現1年生（19期生）
入学者数（充足率）	9名（25.7%）	6名（17.1%）	8名（22.9%）
在籍者数	9名	6名	8名
留年者数	0名	0名	0名
休学者数	0名	0名	0名
退学者数	0名	0名	0名

- 1) 本学科は救急救命士を養成する学科であり、入学時の生徒のほとんどは消防もしくは病院への就職を希望している。ただし、職域拡大が始まったことにより、病院就職だけではなく他職種を希望する生徒も増えつつある。
- 2) 新入生の中には、自身の進路に対して目標が明確な生徒もいる一方、漠然とした生徒も見受けられる。ただ近年、課外授業や研修、説明会を多く取り入れることにより、入学時の希望進路から別路線への進路を希望する学生が増えてきている。職域拡大されたことにより選択肢が増えたこと及び認知を広げる施策が功を奏していると考えている。また、国家試験に向け、早期から対策授業と自己学習の取り組み方について指導している。

(2) 取り組み状況・成果

1) 社会人としての意識付け

消防や医療機関に就職する以前に、一社会人として、髪型や身だしなみ、挨拶、清掃整備の重要性について根強く指導した。社会人力を高めつつ、即戦力となるためである。また短い時間であっても、毎日継続すること、目の前の課題を後回しにしないことの重要性を日々伝えている。

2) 救急救命士としての意識付け

医療従事者としての意識付けを行うために、能登総合病院主催の症例検討会等の参加を継続している。また、今年度は最終学年に参加を認められている救急教育コースへの参加も認められ、希望学生を募り参加した。今後の動きとして学会への参加及び実技コンテストの参加も決定しており、救急救命士としての生涯教育というものを理解及び経験することができると考えている。

1－2年次は消防署での救急車同乗実習、2－3年次では病院での臨床実習と卒業までに各2回ずつ実習を行っている。全生徒が消防実習を行っている教育施設は少なく、希望就職先での実習または職業選択の意味合いとしても充実した実習となっている。そして、教育学的な教育と実際の現場の活動の違い、リアルな現場を目の当たりにさせ、医療の理解を深めさせる良い機会となっている。

3) 医療従事者との交流、他の学校の学生との交流

毎年行われている学生選手権（西日本大会）へも出場することが決定しており、それに向けて授業の時間以外でも訓練をしている。

能登地震を機に、国土舘大学の学生と共に七尾市内でのボランティア活動も継続している。

4) 地域の社会貢献

志賀町で行われる防災イベントへの参加が決まっており、防災や地域交流を念頭に置いたブースを設置し、各機関との交流を図り、学校の認知を高めたと考えている。また、令和8年3月に開催予定の万葉マラソン大会の救護スタッフとして、参加予定である。そして、地震の影響で祭礼の担い手不足地域の祭りへも参加した。

5) 令和4年度卒業生の国家試験結果、就職率・消防就職率

①国家試験結果

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
本校 (現役)	13/13 名 (100%)	16/16 名 (100%)	13/13 名 (100%)
全国 (現役)	91.3%	93.8%	94.2%

②就職率・消防就職率

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就職率	11/13 名 (84.6%)	16/16 名 (100%)	13/13 名 (100%)
消防就職率	10/12 名 (83.3%)	9/11 名 (81.8%)	11/11 名 (100%)

(3) 課題と今後の取り組み

1) 4年連続国家試験合格率 100%

3年生は標準テキストでの勉強は当然の事であるが、過去問、模擬試験等を使つての問題演習を行う。教育施設別の模擬試験で現在地を確認し、自らの苦手な科目を知り重点的に指導する。また、国家試験で重要なC・D問題の対策として症例の作成や実技（シミュレーション）訓練を通して知識を定着させていく。また、2年生から国家試験対策を開始し、屋根瓦方式で3年生が2年生に教えることによりアウトプットを積極的に行っている。2年生は次年度の自分をイメージし、次は教える立場になることを早期から認識させる。教える側にかかる責任やプレッシャーを経験させる。

2) 2年連続就職率 100%

昨今、救急救命士の職域は広がりをみせており、消防や医療機関への就職だけではなく、その他の職種を希望する学生が増えている。そこで、学生が希望する就職先の情報を提供するだけではなく、今までに選択肢として挙げたことのない業種に関わる研修や説明会を実施し、選択肢を広げることを積極的に実施している。消防を目指す学生は今まで同様に公務員試験対策授業を外部の専門家に依頼し、全国統一模擬試験も数回実施して現在地を確認させている。また、医療機関を目指す学生には現地へ赴いて病院見学や実習を積極的に参加させ、将来、そこで働く自分をイメージさせている。くわえて、専門知識の習得及び面接練習をサポート、各機関のニーズをリサーチし、就職率 100%を目指している。

【意見・質問】

- ・就職先が消防以外の病院関連が増えていることについて知れて良かった。
- ・合格率および就職率が高いことをもっと全面的にアピールした方が良いとの意見を頂いた。
- ・今後、幅広い分野での活動が期待できる職種であると思うので、小中学生も視野に入れた広報活動を積極的に行う必要があるとの意見を頂いた。

5. 学校としての取り組み結果報告

資料④

(1) 学生募集

1) スクールバスと学生寮

現在、氷見高岡方面のバスは 15 名ほどの利用者がおり、全学生の約 20%が利用している。高校の教員間での人知度は高まりつつあるが、高校生では「知らなかった」との声も聞かれている。しかしながら、呉西地区の学生募集効果としては少なからず影響があるものとする。今後は、金沢方面のスクールバスの運行も視野に検討していきたい。学生寮は能登半島地震後から、小丸山寮・後畠寮の 2 か所のみの運営となっており、入居率は後畠 11 部屋中 4 部屋 (36.4%)、小丸山寮最大 30 名定員中 13 名 (43%) ただし、小丸山寮に関しては 2 人部屋を 1 人部屋として利用している学生もいることから、空室は 15 部屋中 3 部屋である。近年の入学者の傾向に、近隣学生 (通学圏内)が増えてきていることもあり、現在の 2 寮での運営でも空室は見られている。今後、広く学生募集を活動していくこと、昨今の学生の性質から 1 人部屋の確保は必要になると考えられるため、石崎第 2 寮の復活を検討していきたい。

2) 募集メディアと募集方法

① 募集メディアの企画 導入、実施、結果などについて

リクルート社と株式会社マイナビ社、ライセンスアカデミー社の契約を継続し、ポータルサイトでの宣伝、資料請求やイベント参加の受付、高校ガイダンスや会場ガイダンスの参加を行ってきた。

また、今年度より株式会社 imagine と複合的なコンサルタント契約を締結し、主に高校訪問代行・SNS 運営・販促物の作成・学生募集の全体的なアドバイスとコンサルティングを業務依頼している。その一環で、新たに公式 LINE の運用が始まり、ガイダンスやオープンキャンパスに参加した学生との繋がりを強めることができ、後追いも安易になっている。さらに、TikTok での動画配信も開始した。これにより飛躍的に SNS 上での露出が増大し、Instagram、Facebook も含めリーチ、インプレッションともに上昇している。」

② 資料請求

資料請求数は昨年度 9 月までの累計で、現在高校 3 年生からは 789 件、高校 2 年生 478 件、高校 1 年 113 件のアクションがあった（資料請求＋ガイダンス）最も多いのはリクルート社経由、次いでマイナビ、ライセンスアカデミーの順。資料請求数は増加しているものの歩留まりが伸びず、オープンキャンパス参加者は微増しているが、十分数に達しているとは言えない。しかし、救急救命学科の 9 月時点での参加者が 20 名から 38 名に延び増加したことは成果であったと考える。一方で理学療法学科の参加者は昨年度 31 名に対し今年度 9 月現在で 21 名と伸び悩んでいる。来校者数と出願者数は相関が高いため、より強く着実な広報活動が必要であると考えます。

③ 高校ガイダンス

今年度は、ライセンスアカデミー1 社との契約を結び、4 月から 9 月の間に 32 件の高校ガイダンスに参加した。接触学生が増えたことで微増ではあるが来校につながったケースも見られた。紙面掲載契約はないが、(株)さんぽう、(株)キッズコーポレーションからはスポットでの参加を行っている。前述した公式 LINE への誘導を行ったことで継続的に高校生とつながることができたことは、大きな要因となっている。しかしながら、歩留まりは予想より低く、今後も近隣高校や実績校のガイダンスにより参加できるように、ガイダンス業者への働きかけを強め、また参加の可否についても精査していきたい。

今年度は、進路指導講座や面接指導の講師依頼もライセンスアカデミー経由で 6 校ほど来ており、このような活動も含めて高校性に直接触れる機会や高校とのつながりを増やしていくことができると考える。

④ 高校訪問

今年度は北陸三県・滋賀県（湖北地区）岐阜県全域、長野県（南信地区以外）の高校も訪問した。北陸三県以外での高校の反応は様々であったが、いくつかの学校は興味を示していただき、遠方知の訪問を始めて 3 年目にして、今年は岐阜と長野からの入学志願者が見られた。救急救命の志望者は選択肢が少なく、家を出て進学すること

に抵抗がないものの、どうせ家を出るならより都市部にといった傾向もみられる。また、当校を志望した学生から聞かれたのは、学費面の安さにあった。他校と比較検討した際にも3年生でも100万近く開きがある学校もあり、これらは大きな宣伝材料になると考える。今年度は、新たに長野県梓川高校が指定校にすることもできたことから、今後も定期的に訪問していくことが重要であるとする。

前述したオンラインオープンキャンパスと学生寮の案内に加え、県外からのオープンキャンパス参加者の宿泊費補助（上限5,000円）の案内を新たに販促物として作成し、遠方から足を運びやすくなるような施策を行っている。

【意見・質問】

- ・対面式の高校ガイダンスを多く取り入れたことは良いことであると思うため、今後も継続していくことが重要との意見を頂いた。
- ・県内外への広報活動の実際を知れてよかった。高校生の認知度をいかに上げるかが課題であると思う。
- ・SNS戦略をもっと駆使して広報活動を行い、入学者数の増加につなげてほしい。
- ・氷見、富山便のスクールバス運行の取り組みは費用対効果があると思うので、今後も継続した方が良いとの意見を頂いた。
- ・震災による学生寮の利用が一部困難になったことはマイナスであるが、修繕等をして、寮利用ができることをアピールした広報活動につなげて欲しいとの意見を頂いた。

(2) 地域貢献

1) 学内デイサービス『みんなの教室』の実施状況について

七尾市総合事業における基準緩和型運動型のデイサービス

＊2017年開設 毎週火曜午前（風呂・食事は無し） 今年9年目

定員の10名であるが、震災の影響によりしばらく休止していたが、去年の9月より再開している。地震後に利用者様が減ってしまったが、七尾市の包括支援センターや社会福祉協議会にも呼びかけを行っていきたい。

学生スタッフが常時4～6人程度入り、利用者に係ることで障害像の把握や接遇についてなど学んでいる。入学者から「みんなの教室」があると聞いたから入学した、との声も聞かれるため、七尾校の大きな特色と強みになってきている。

2) 地域交流

震災後のボランティア活動、地域の障害者イベントやスポーツ大会、障がい者施設でのお祭りのボランティアなど、有志の学生が積極的に参加することができている。

また、国土舘大学と協力をして、定期的に震災復興ボランティアにも参加して、地域貢献に勤めている。今後は、七尾市や近隣自治体主催の活動やイベントにも積極的に参加して、地域住民の方々にも認知を広めるとともに、地域との交流を深めていきたい。

【意見・質問】

- ・他校では行っていない、パラスポーツへの教育をもっとアピールした方が良いと思う。
- ・地域交流の施設ボランティアの参加がもっと増えることを願っています。

6. 自己点検・評価書の総評
特段意見・質問なし

以上